

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	現代の国語（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【読み深める】コミュニケーション能力とは何か、感情暴走社会の由来、「わらしべ長者」の経済学、デジタルメディア時代の複製、ものことば					
	後期	【考えを表す】問題を提起する、対比する、賛否を述べる、解釈を述べる、具体例を示す、意見を述べる、芸術鑑賞文、条例とパンフレット、アンケート調査、SDGs解説文、図と文章、企画書					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありえません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	言語文化（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、伊勢物語、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集と近代短歌の比較探究					
	後期	土佐日記、おくのほそ道、戦国策、韓非子、列子、羅生門と今昔物語集の比較探究					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	現代の国語（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【読み深める】コミュニケーション能力とは何か、感情暴走社会の由来、「わらしべ長者」の経済学、デジタルメディア時代の複製、ものことば					
	後期	【考えを表す】問題を提起する、対比する、賛否を述べる、解釈を述べる、具体例を示す、意見を述べる、芸術鑑賞文、条例とパンフレット、アンケート調査、SDGs解説文、図と文章、企画書					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありえません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	言語文化（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、伊勢物語、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集と近代短歌の比較探究					
	後期	土佐日記、おくのほそ道、戦国策、韓非子、列子、羅生門と今昔物語集の比較探究					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	現代の国語（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【読み深める】コミュニケーション能力とは何か、感情暴走社会の由来、「わらしべ長者」の経済学、デジタルメディア時代の複製、ものごとことば					
	後期	【考えを表す】問題を提起する、対比する、賛否を述べる、解釈を述べる、具体例を示す、意見を述べる、芸術鑑賞文、条例とパンフレット、アンケート調査、SDGs解説文、図と文章、企画書					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありえません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	言語文化（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、伊勢物語、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集と近代短歌の比較探究					
	後期	土佐日記、おくのほそ道、戦国策、韓非子、列子、羅生門と今昔物語集の比較探究					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	現代の国語						
教科書及び 使用教材等	新編 現代の国語（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	評論文、対話文、実用文を読み、実践的な読解力を身につける。また、日本語による論理的思考の訓練を通し、整合性のある意見形成ができる力を育成する。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	【言葉を学ぶ1】 「目指す世界の地図を作る」「水の東西」「世間話はなぜするか」「広告コピーを書く」					
	後期	【言葉を学ぶ2】 「コインは円形か」「『わらしべ長者』の経済学」 【言葉を使う】 「グラフをもとに話し合う」「発表の方法 プレゼンテーション」					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	自分の頭で考えることの大切さと、協同し問題解決することの大切さは矛盾するものではありません。成員が自分の意見を持たないコミュニティに合意形成はありえません。世の中に流される人間にならないでください。世の中と渡り合える人間になってください。						

教科名	国語	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	言語文化						
教科書及び 使用教材等	新編 言語文化（数研出版）					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高等学校における国語学習の基本として、古文、漢文の基本的知識を育成する。また、韻文、小説を探究的に学習し、豊かな共感力・想像力を養う。さらに、プレゼンテーション、論述、グループワークなどを通して、言葉の価値への認識を深め、伝え合う力を高める。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語、徒然草、訓読のきまり、格言、日本文化に残る漢文の影響を探る					
	後期	伊勢物語、おくのほそ道、故事成語、和歌の内容を現代の場面に当てはめ表現する					
評価の観点 評価の方法	定期調査や確認テストの成績、および観点別評価を総合して評価します。						
教師からの メッセージ	あなたたちは我が国の言語文化の貴重な担い手です。当該科目においては我が国の文化を表象するアーカイブに縦断的にアクセスします。日本文化への造詣を深めるとともに、自らの日本語話者としてのアイデンティティを見つめ直しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試を見据え、長文の読解能力を高める。また、論理的に文章を読む力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐『学問の発見』 上田紀行『「内的成長」社会へ』 小浜逸郎『人はなぜ働かなければならないのか』					
	後期	岩井克人『未来世代への責任』 野矢茂樹『日本語は非論理的か』 藤田省三『「安楽」への全体主義』					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	論理的思考力を身につけるための教科です。 常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 共通テストや難関大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	総合国語						
教科書及び 使用教材等	表現トレーニング教材 共通テスト対応読解問題集等					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに言語文化に対する理解を深める。創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う能力を高める。						
学習計画	前期	文法や語彙などの基礎力を確かなものにする。 文章の推敲 情報を批判的に読む					
	後期	文法や語彙などの基礎力を確かなものにする。 評論・小説読解演習					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	深く共感したり豊かに想像したりすることは、自己の成長にもつながります。 言葉を通じて積極的に他者や社会と関わり、思いや考えを深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	論理国語						
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語 (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試を見据え、長文の読解能力を高める。また、論理的に文章を読む力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐『学問の発見』 上田紀行『「内的成長」社会へ』 小浜逸郎『人はなぜ働かなければならないのか』					
	後期	岩井克人『未来世代への責任』 野矢茂樹『日本語は非論理的か』 藤田省三『「安楽」への全体主義』					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの 一言	論理的思考力を身につけるための教科です。 常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	古典探究					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編(数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 共通テストや難関大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	論理国語					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	精選 論理国語(数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	広中平祐『学問の発見』 上田紀行『「内的成長」社会へ』 小浜逸郎『人はなぜ働かなければならないのか』					
	後期	岩井克人『未来世代への責任』 野矢茂樹『日本語は非論理的か』 藤田省三『「安楽」への全体主義』					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	論理的思考力を身につけるための教科です。 常に文意とその論拠を考えながら文章に向き合しましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	古典探究					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	古典探究 古文編・漢文編(数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。大学受験に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	説話・歌物語・随筆・故事・漢詩：古文・漢文文法・古典探究活動					
	後期	歴史・軍記物語・日記文学・史伝・思想・古典探究活動					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	この授業は古典を通じて、伝統と文化からその重要性を理解し、古典の意義や価値について探究するものです。各時代の人間や社会、自然等に対する捉え方や感じ方を理解し、日本文化への理解を深めていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	文学国語					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	文学国語(東京書籍)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	基礎的な文法・語彙を確認することから始め、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。随筆 「雨月物語」 木内昇 評論「言葉を生きる」若松英助 小説「沖繩の手記から」 田宮虎彦					
	後期	多くの文章を読み、思考力を深める。 評論 「詩と感情生活」 鮎川信夫 「文学のふるさと」 坂口安吾 小説「こころ」 夏目漱石					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	学ぼうと思った時に一人で学ぶことができる基礎力を身につけてください。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	新編 古典探究 (東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。生涯にわたって古典を主体的に学ぶ基礎を培う。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 十訓抄「大江山」 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 方丈記「ゆく河の流れ」 故事成語 (蛇足、断腸、知音) 竹取物語「天の羽衣」 土佐日記「馬のはなむけ」					
	後期	更級日記「門出」 平家物語「壇の浦の合戦」 唐詩 (宿建德江など八首) 史記「鴻門之会」 「四面楚歌」 小倉百人一首					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	古典に出てくる言葉は現代の私たちが使っている言葉と全く違う言葉ではありません。古典の表現の奥に、現代に生きる自分のところに共鳴する古人のころがあることを発見して欲しいと思います。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	文学国語						
教科書及び 使用教材等	文学国語 (東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	基礎的な文法・語彙を確認することから始め、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。随筆 「雨月物語」 木内昇 評論「言葉を生きる」若松英助 小説「沖縄の手記から」 田宮虎彦					
	後期	多くの文章を読み、思考力を深める。 評論 「詩と感情生活」 鮎川信夫 「文学のふるさと」 坂口安吾 小説「こころ」 夏目漱石					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	学ぼうと思った時に一人で学ぶことができる基礎力を身につけてください。						

教科名	国語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	古典探究						
教科書及び 使用教材等	新編 古典探究 (東京書籍)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、生涯にわたって古典を主体的に学ぶ基礎を培う。						
学習計画	前期	宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 方丈記「ゆく河の流れ」 故事成語 (蛇足、断腸、知音)					
	後期	更級日記「門出」 唐詩 (宿建德江など八首) 史記「四面楚歌」 小倉百人一首					
評価の観点 評価の方法	定期テスト60%、プレゼンテーション15%、論述15%、関心・意欲・態度10%。						
教師からの メッセージ	古典に出てくる言葉は現代の私たちが使っている言葉と全く違う言葉ではありません。古典の表現の奥に、現代に生きる自分のところに共鳴する古人のころがあることを発見して欲しいと思います。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	現代文B						
教科書及び 使用教材等	現代文B (数研出版) 共通テスト対策問題集など					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試、特に共通テストで最高点を取ることを目指す。						
学習計画	前期	基礎的なことから始め、特に長文を速いスピードで読み解き、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	自分の力を限定せず、可能性を追求していきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	古典B						
教科書及び 使用教材等	古典B 古文編・漢文編(数研出版) 共通テスト対策問題集					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、共通テストや難関大学入試に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	文法や句法などの基礎力を確かなものにする。また、ある程度ボリュームのある文章を読み、内容を理解する力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみよう。 さらに、受験に必要な文法・句法・語彙力をUPさせよう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説 (桐原書店)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。 苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	現代文B						
教科書及び 使用教材等	現代文B(数研出版) 共通テスト対策問題集など					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	大学入試、特に共通テストで最高点を取ることを目指す。						
学習計画	前期	基礎的なことから始め、特に長文を速いスピードで読み解き、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	自分の力を限定せず、可能性を追求していきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	古典B						
教科書及び 使用教材等	古典B 古文編・漢文編(数研出版) 共通テスト対策問題集など					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、共通テストや難関大学入試に対応できる能力を養う。						
学習計画	前期	基礎的な文法・句法を確認し、確かなものにする。ある程度ボリュームのある文章を読み、内容を理解する力を養う。					
	後期	共通テストや個別試験対策としてより多くの問題を解き、実践的な力を養う。					
評価の観点 評価の方法	定期考査・学習態度で評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみよう。 さらに、受験に必要な文法・句法・語彙力をUPさせよう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説 (桐原書店)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。</li> <li>・定期考査、提出課題によって評価します。</li> </ul>						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 I コース
科目名	現代文B						
教科書及び 使用教材等	新編 現代文B (大修館書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	随想「夢を建てる人々」 「幸せの分量」 小説「待合室」「殺し文句は永遠に」					
	後期	評論「家族化するペット」 小説「鉄道員」					
評価の観点 評価の方法	定期考査や確認テストの成績、提出物の内容を総合して評価します。						
教師からの メッセージ	さまざまな文章にふれ、ものの見方、感じ方、考え方を深める授業でもあります。進んで読書をし、論理的な思考力や想像力、感性を育ててください。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 I コース
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説 (桐原書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際 ②政治・経済 ③環境 ④科学・技術 ⑤情報・通信 ⑥教育 ⑦医療・健康 ⑧福祉 ⑨社会					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確かつ論理的に表現できることを、評価の観点とします。</li> <li>・定期考査、提出課題によって評価します。</li> </ul>						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 I コース
科目名	古典B						
教科書及び 使用教材等	新編 古典B (大修館書店)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、受験に対応できる力を培う。						
学習計画	前期	更級日記「門出」 枕草子「野分のまたの日こそ」 伊勢物語「初冠」 後漢書「糟糠の妻」 漢文句形の練習					
	後期	奥の細道「漂泊の思ひ」 大鏡「三船の才」 古典の常識復習 問題演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査や確認テストの成績、提出物の内容を総合して評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみましょう。さらに、受験に必要な文法・句法・語彙力をUPさせましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 IIコース
科目名	現代文B						
教科書及び 使用教材等	新編 現代文B (大修館書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	総合的な言語能力を養い、近代以降のさまざまな文章を的確に理解し適切に表現する機会をもつことで、現代の複雑多様な言語生活に対応できる力を育てる。						
学習計画	前期	随想「夢を建てる人々」 「幸せの分量」 小説「待合室」「殺し文句は永遠に」					
	後期	評論「家族化するペット」 小説「鉄道員」					
評価の観点 評価の方法	定期考査や確認テストの成績、提出物の内容を総合して評価します。						
教師からの メッセージ	さまざまな文章にふれ、ものの見方、感じ方、考え方を深める授業でもあります。 進んで読書をし、論理的な思考力や想像力、感性を育ててください。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 IIコース
科目名	古典B						
教科書及び 使用教材等	新編 古典B (大修館書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、受験に対応できる力を培う。						
学習計画	前期	更級日記「門出」 枕草子「野分のまたの日こそ」 伊勢物語「初冠」 後漢書「糟糠の妻」 漢文句形の練習					
	後期	奥の細道「漂泊の思ひ」 大鏡「三船の才」 古典の常識復習 問題演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査や確認テストの成績、提出物の内容を総合して評価します。						
教師からの メッセージ	日本文化のルーツに触れ、自分の感受性を刺激してみましよう。 さらに、受験に必要な文法・句法・語彙力をUPさせましよう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 IIコース
科目名	国語表現						
教科書及び 使用教材等	小論文ジャンル別キーワード解説 (桐原書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	入試科目としての小論文に対応できる考察力・表現力を養う。						
学習計画	前期	ジャンル別に時事問題についての知識を広げ、自分の意見を文章にまとめる。 ①国際、②政治・経済、③環境、④科学・技術、⑤情報・通信 ⑥教育、⑦医療・健康、⑧福祉、⑨社会、⑩思想					
	後期	過去の入試問題を中心に、進路に合わせて演習問題に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確に、論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。 苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						

教科名	国語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 IIIコース
科目名	現代文B						
教科書及び 使用教材等	新編 現代文B (大修館書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	近現代の文章を読み、読む楽しみを深め(小説)筆者のものの見方;感じ方をつかみ(随筆)論旨をとらえ、内容を的確に理解する(評論)ことを目指し、人生を豊にする態度を養う。						
学習計画	前期	随想「夢を建てる人々」 「幸せの分量」 小説「待合室」「殺し文句は永遠に」					
	後期	評論「家族化するペット」 小説「鉄道員」					
評価の観点 評価の方法	・時事用語や問題点を理解していること、また、社会問題について自分の考えを明確に、論理的に表現できることを、評価の観点とします。 ・定期考査、提出課題によって評価します。						
教師からの メッセージ	自分の考えを表現することは、将来いろいろな場面で必要になります。 苦手意識を持たずに、実践を通して力を伸ばしていきましょう。						



教科名	国語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅲコース
科目名	古典B						
教科書及び 使用教材等	新編 古典 (大修館書店)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともにものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に就いての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。						
学習計画	前期	方丈記「安元の大火」 大和物語「生田川」 三国志「水魚之交」					
	後期	源氏物語「光源氏誕生」 史記「項羽と劉邦」					
評価の観点 評価の方法	ノート検査・小テスト・定期考査の成績を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	古典を通して、自分の生き方や考え方を振り返りつつ、豊かな人生を歩んで欲しいと思います。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	歴史総合						
教科書及び 使用教材等	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 副教材：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。						
学習計画	前期	○結びつく世界と日本の開国 ○国民国家と明治維新 ○総力戦と社会運動					
	後期	○経済危機と第二次世界大戦 ○冷戦と世界経済 ○世界秩序の変容と日本					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の歴史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	歴史総合						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 副教材：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。						
学習計画	前期	○結びつく世界と日本の開国 ○国民国家と明治維新 ○総力戦と社会運動					
	後期	○経済危機と第二次世界大戦 ○冷戦と世界経済 ○世界秩序の変容と日本					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の歴史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	歴史総合						ハイブリット文理コース
教科書及び 使用教材等	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 副教材：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノート」					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。						
学習計画	前期	○結びつく世界と日本の開国 ○国民国家と明治維新 ○総力戦と社会運動					
	後期	○経済危機と第二次世界大戦 ○冷戦と世界経済 ○世界秩序の変容と日本					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 ○提出物（学習ノート）の提出状況 ○確認テストの点数 ○授業中の（質問などに対する）発言回数						
教師からの メッセージ	近現代の歴史を学ぶことは現在の国際社会・世界経済・日本の置かれている状況などを理解する上でとても重要です。歴史の学習を「暗記教科」と決めつけず、過去からの大きな流れをとらえ、未来を考えるための学習だと考えてください。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	歴史総合						普通 コース
教科書及び 使用教材等	教科書：新選 歴史総合 副教材：新選 歴史総合ワークノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①近現代史を中心とする日本・世界の歴史から、現代社会を理解すること。 ②諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考察すること。 ③歴史的思考力を培い、グローバル社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養うこと。						
学習計画	前期	○歴史の扉 ○近代化と私たち					
	後期	○近代化と私たち国際秩序の変化や大衆化と私たち ○グローバル化と私たち					
評価の観点 評価の方法	○定期考査 クノート提出 ト・グループワーク課題						
教師からの メッセージ	日本だけでなく世界の国々に興味を持ち、将来、海外で活躍する生徒が出てほしい。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	日本史探究						
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史 図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストをはじめ国公立二次・私 大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習 計画	前期	原始・古代～平安中期(摂関政治・国風文化)まで					
	後期	平安後期(国司の地方支配)～江戸中期(元禄時代)まで					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数(知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物(ワークノート)の提出状況(関心・意欲・態度) ○確認テストの点数(知識) ○授業中の(質問などに対する)発言回数、授業態度(関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイ ツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受 け止めるべきですね。1年間よろしく!						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理探究						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	地理探究は、地理的なものの見方や考え方を学び、国際人として生きていく力を養う科目です。学習にあたっての到達目標は次の通り です。 ①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。						
学習 計画	前期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業					
	後期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追 究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査 の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視しま す。						
教師からの メッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、 地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	日本史探究						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史 図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応でき る学力の養成を図ります。						
学習 計画	前期	原始・古代～平安中期(摂関政治・国風文化)まで					
	後期	平安後期(国司の地方支配)～江戸中期(元禄時代)まで					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数(知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物(ワークノート)の提出状況(関心・意欲・態度) ○確認テストの点数(知識) ○授業中の(質問などに対する)発言回数、授業態度(関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイ ツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受 け止めるべきですね。1年間よろしく!						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	地理探究						イノベーション探究コース
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	地理探究は、地理的なものの見方や考え方を学び、国際人として生きていく力を養う科目です。学習にあたっての到達目標は次の通り です。 ①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。						
学習 計画	前期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境					
	後期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追 究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査 の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視しま す。						
教師からの メッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、 地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	日本史探究					ハイブリット文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史 図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期(摂関政治・国風文化)まで					
	後期	平安後期(国司の地方支配)～江戸中期(元禄時代)まで					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数(知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物(ワークノート)の提出状況(関心・意欲・態度) ○確認テストの点数(知識) ○授業中の(質問などに対する)発言回数、授業態度(関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく!						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	地理探究					ハイブリット文理コース	
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境					
	後期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度、レポートや白地図ノートなど提出物の内容を重視します。						
教師からの メッセージ	まだ見ぬ未知の世界への関心という人間の根源的興味を満たしてくれるのが、地理学習であり、地理のおもしろさです。広い視野を持って学習していきましょう。						

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	日本史探究					アドバンス文系コース	
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史』山川出版社 副教材:『新詳日本史 図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストや私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	原始・古代～平安中期(摂関政治・国風文化)まで					
	後期	平安後期(国司の地方支配)～江戸中期(元禄時代)まで					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数(知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物(ワークノート)の提出状況(関心・意欲・態度) ○確認テストの点数(知識) ○授業中の(質問などに対する)発言回数、授業態度(関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく!						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	日本史B						
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史B』山川出版社 副教材:『新詳日本史 図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社、 『山川一問一答日本史』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストをはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	江戸後期(三大改革)～現代(1980年代)まで					
	後期	センター試験演習(国公立二次対策、私大個別入試対策含む)					
評価の観点 評価の方法	前期成績と後期成績については、それぞれ中間考査と期末考査の素点平均を評点とします。学年末考査では、前期成績、後期成績、学年末考査素点の平均を算出、これを7割掛けし、考査を70点で評価します。残り30点が平常点扱いです。平常点として、週毎の復習ノートの提出率とその内容を評価、更に歴代内閣総理大臣テストの点数も評価の対象とします。						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル(18～19C)の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく!						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理 B						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理 大学入学共通テスト対策問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。 以上の三点に加え、地理的思考力を発揮して大学入学共通テストにおいて7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習計画	前期	第Ⅱ部 4章生活文化、民族・宗教 第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 (アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)					
	後期	大学入試センター試験および大学入学共通テストの過去問、全国模試の過去問、共通テスト予想問題を使って数多く演習していきます。60分の問題を50分以内で解きます。マーク式に慣れ、解答スピードを速める練習でもあります。					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	日本史 B						
教科書及び 使用教材等	教科書:『詳説日本史B』山川出版社 副教材:『新詳日本史図説』浜島書店、『詳説日本史ノート』山川出版社、 『山川一問一答日本史』山川出版社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な日本史の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストをはじめ国公立二次・私大入試にも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	江戸後期 (三大改革) ～現代 (1980年代) まで					
	後期	センター試験演習 (国公立二次対策、私大個別入試対策含む)					
評価の観点 評価の方法	前期成績と後期成績については、それぞれ中間考査と期末考査の素点平均を評点とします。学年末考査では、前期成績、後期成績、学年末考査素点の平均を算出、これを7割掛けし、考査を70点で評価します。残り30点が平常点扱いです。平常点として、週毎の復習ノートの提出率とその内容を評価、更に歴代内閣総理大臣テストの点数も評価の対象とします。						
教師からの メッセージ	「人類が歴史から学んだ唯一のことは、人類は歴史から何も学んでいないということだ。」ドイツの哲学者・ヘーゲル (18～19C) の言葉です。私たちはこの言葉を謙虚に、そして批判的に受け止めるべきですね。1年間よろしく！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	地理 B						
教科書及び 使用教材等	教科書 新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 新詳地理資料 サクシード地理 大学入学共通テスト対策問題集					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。 以上の三点に加え、地理的思考力を発揮して大学入学共通テストにおいて7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習計画	前期	第Ⅱ部 4章生活文化、民族・宗教 第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 (アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)					
	後期	大学入試センター試験および大学入学共通テストの過去問、全国模試の過去問、共通テスト予想問題を使って数多く演習していきます。60分の問題を50分以内で解きます。マーク式に慣れ、解答スピードを速める練習でもあります。					
評価の観点 評価の方法	意欲的に学習課題を追究していたか、また、現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けることができたか、という観点で評価します。定期考査の点数、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 I コース
科目名	日本史 B						
教科書及び 使用教材等	教科書 山川出版 「詳説日本史 B」 資料集 浜島書店 「新詳 日本史」 ワーク 浜島書店 「ゼミナール日本史」					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	「近世の日本と世界」では、織豊政権から江戸時代における社会や文化の特色について、封建的支配体制が作り上げられる幕藩体制の確立、町人文化が生み出された幕藩体制の展開、列強の接近に伴う幕藩体制の動揺の3つの構成から世界史的な流れと関連させて考察する。					
	後期	「近代日本の形成と世界」では、ペリー来航以降の近代の社会や文化の特色について、開国・明治維新・自由民権運動を経て近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み						
教師からの メッセージ	先人の生き方・文化を学び、自国に対する自尊心やグローバルな視点を身につけよう。						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 I コース
科目名	地理B					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	教科書 帝国書院 「新詳地理B」 資料集 帝国書院 「COMPLETE」 ワーク 帝国書院 「新詳地理Bノート」				資料	履修形態	選択
					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	地球的な課題 「人口・食料問題」「都市・居住問題」「環境・エネルギー問題」					
	後期	グローバル化する現代世界 「近隣諸国の研究」「地図でとらえる現代世界」					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程 II コース
科目名	日本史B					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	教科書 山川出版 「詳説日本史B」 資料集 浜島書店 「新詳 日本史」 ワーク 浜島書店 「ゼミナール日本史」				資料	履修形態	必修
					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	「近世の日本と世界」では、織豊政権から江戸時代における社会や文化の特色について、封建的支配体制が作り上げられる幕藩体制の確立、町人文化が生み出された幕藩体制の展開、列強の接近に伴う幕藩体制の動揺の3つの構成から世界的な流れと関連させて考察する。					
	後期	「近代日本の形成と世界」では、ペリー来航以降の近代の社会や文化の特色について、開国・明治維新・自由民権運動を経て近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み						
教師からの メッセージ	先人の生き方・文化を学び、自国に対する自尊心やグローバルな視点を身につけよう。						

教科名	地理歴史	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 III コース
科目名	地理A					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	教科書 第一学習社 『高等学校 地理A』 副教材 帝国書院 『新詳高等地図』 第一学習社 『地理Aノート』				資料	履修形態	必修
					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	①現代世界の地理的認識を深める。 ②系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養う。						
学習計画	前期	1章 地球儀で地図をとらえる現代世界					
	後期	2章 世界の人々の生活を取りまく地理的環境 3章 世界の諸地域の生活・文化と環境					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 出物(学習ノート)の提出状況 確認テストの点数 の(質問などに対する)発言回数 ○提出物 ○授業中						
教師からの メッセージ	地図をみるのは好きですか?好きな人はその時点で地理向きな人かもしれません。世界地図を見ているとワクワクしませんか?そうでない人でも地図をみて世界とはどうなっているか興味をもてる授業にしたいと思います。一番大事なことは「興味がわいてくること」です。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	地理総合					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	教科書:『新地理総合』帝国書院 ワーク:『新地理総合ノート』帝国書院				資料	履修形態	必修
					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力					
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み						
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。						

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程	
科目名	地理総合					イノベーション探究コース		
教科書及び 使用教材等	教科書：『新地理総合』 帝国書院 ワーク：『新地理総合ノート』 帝国書院					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。							
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力						
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち						
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み							
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。							

教科名	地理歴史	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程	
科目名	地理総合					ハイブリット文理コース		
教科書及び 使用教材等	教科書：『新地理総合』 帝国書院 ワーク：『新地理総合ノート』 帝国書院					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。							
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力						
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち						
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み							
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。							

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程	
科目名	地理総合					アドバンス文系コース		
教科書及び 使用教材等	教科書：『新地理総合』 帝国書院 ワーク：『新地理総合ノート』 帝国書院					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。							
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力						
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち						
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み							
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。							

教科名	地理歴史	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程	
科目名	地理総合					スタンダードコース		
教科書及び 使用教材等	教科書：『新地理総合』 帝国書院 ワーク：『新地理総合ノート』 帝国書院					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。							
学習計画	前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力						
	後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち						
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業への取り組み							
教師からの メッセージ	現代の世界を地理から学び教養を深めていこう。							

教科名	公民	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース
科目名	公共						
教科書及び 使用教材等	教科書 新公共 (第一学習社)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①現代社会の諸課題について、それぞれの内容・背景・問題点について理解し、主体的に考察し、判断する力を養う。 ②青年期の身体的・社会的・心理的な特質を学習することを通して、現在の自分の姿を確認するとともに、将来あるべき自分の姿、今後の生き方について考察する。 ③現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、公正な判断力や健全な批判力を養う。そして、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。						
学習計画	前期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
	後期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	公共						
教科書及び 使用教材等	教科書:『高等学校 公共』第一学習社 副教材:『最新公共資料集2023』第一学習社、『公共ノート』第一学習社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理、政治、経済の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストにも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	*『公共』の授業枠の中で『倫理』内容を優先して進めます。 ・青年期の特色と心理学 ・日本の思想・宗教 ・源流思想 (三大宗教、ギリシア思想)					
	後期	・西洋の近現代思想 ・現代社会の諸課題					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 (知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物 (ワークノート) の提出状況 (関心・意欲・態度) ○確認テストの点数 (知識) ○授業中の (質問などに対する) 発言回数、授業態度 (関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	公共						
教科書及び 使用教材等	教科書:『高等学校 公共』第一学習社 副教材:『最新公共資料集2023』第一学習社、『公共ノート』第一学習社					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理、政治、経済の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストにも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	*『公共』の授業枠の中で『倫理』内容を優先して進めます。 ・青年期の特色と心理学 ・日本の思想・宗教 ・源流思想 (三大宗教、ギリシア思想)					
	後期	・西洋の近現代思想 ・現代社会の諸課題					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 (知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物 (ワークノート) の提出状況 (関心・意欲・態度) ○確認テストの点数 (知識) ○授業中の (質問などに対する) 発言回数、授業態度 (関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリット文理コース
科目名	公共						
教科書及び 使用教材等	教科書:『高等学校 公共』第一学習社 副教材:『最新公共資料集2023』第一学習社、『公共ノート』第一学習社					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理、政治、経済の知識や理解力を身に付けさせるとともに、共通テストにも対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	*『公共』の授業枠の中で『倫理』内容を優先して進めます。 ・青年期の特色と心理学 ・日本の思想・宗教 ・源流思想 (三大宗教、ギリシア思想)					
	後期	・西洋の近現代思想 ・現代社会の諸課題					
評価の観点 評価の方法	○定期考査の点数 (知識、思考力・判断力・表現力) ○提出物 (ワークノート) の提出状況 (関心・意欲・態度) ○確認テストの点数 (知識) ○授業中の (質問などに対する) 発言回数、授業態度 (関心・意欲・態度)						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						



教科名	公民	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 最新政治・経済(実教出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力						
学習計画	前期	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原則 第2節 日本国憲法の基本原則 第3節 日本の政治機構 第4節 現代政治の特質と課題 第5節 現代の国際政治					
	後期	第2章 現代の経済 第1節 経済社会の変容 第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済の発展と課題 第4節 労働と社会保障 第5節 国民経済と国際経済					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、小テスト、提出物						
教師からの メッセージ	新聞やテレビなどで報道される身近な社会問題と関連づけて、学習していきます。物事の本質や解決のあり方について一緒に考えていきましょう。						

教科名	公民	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 最新政治・経済(実教出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みをニュース、私生活を通して一緒に理解し、頑張りましょう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。 以上の三点に加え、学習の成果を発揮して大学入学共通テストにおいて7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習計画	前期	第1編 現代の政治 第2章 第2編 現代の経済 第1章					
	後期	第2編 現代の経済 第2章 10月以降は、大学入試センター試験および大学入学共通テストの過去問、全国模試過去問、共通テスト予想問題を使って、数多く演習に取り組んでいきます。					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学課程
科目名	政治経済						
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社) 最新図説政経 政治・経済ノート					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。 以上の三点に加え、学習の成果を発揮して大学入学共通テストにおいて7割以上の点数をとることを目標にします。						
学習計画	前期	第1編 現代の政治 第1章～第2章 第2編 現代の経済 第1章 ①経済社会の発展～⑧日本経済の歩み					
	後期	第2編 現代の経済 第2章 10月以降は、大学入試センター試験および大学入学共通テストの過去問、全国模試過去問、共通テスト予想問題を使って、数多く演習に取り組んでいきます。					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	来年、笑顔の春を迎えられるよう一緒にがんばりましょう！						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Iコース
科目名	倫理					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な倫理の知識や理解力を身に付けさせるとともに、センター試験に対応できる学力の養成を図ります。						
学習計画	前期	第3編 近現代の西洋思想					
	後期	第4編 日本の思想・宗教					
評価の観点 評価の方法	4回の定期考査の素点平均を基に、学年末には評定を算出します。						
教師からの メッセージ	地歴・公民科の科目の中で倫理が一番面白いと感じています。この面白さを伝えたいです。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 Iコース
科目名	政治経済					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	教科書 政治・経済(第一学習社)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	①広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 ②現代の政治、経済、国際関係の仕組みや動向について理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。 ③①と②の学習の成果に立って、現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力や健全な批判力を養う。						
学習計画	前期	第1章 現代の政治 1章現代国家と民主政治 2章日本国憲法と基本的人権 3章日本の政治制度と政治参加					
	後期	4章 現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和 第2章 現代の経済 1章経済の変容 2章現代経済のしくみ 3章現代の日本経済と福祉の向上					
評価の観点 評価の方法	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか、また、学習活動を通じて得た基本的な事柄や理論を理解し、その知識が身に付いているか、という観点で評価します。定期考査、学習活動への参加の仕方や態度を重視します。						
教師からの メッセージ	現在の世の中の仕組みをニュース、私生活を通して一緒に理解し、頑張りましょう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 IIコース
科目名	倫理					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。						
学習計画	前期	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術の自覚					
	後期	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第4編 国際社会に生きる日本人 第1章 日本の風土と外来思想の受容					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						

教科名	公民	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 IIIコース
科目名	倫理					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	「高等学校 新倫理 最新版」(清水書院)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。						
学習計画	前期	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術の自覚					
	後期	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第4編 国際社会に生きる日本人 第1章 日本の風土と外来思想の受容					
評価の観点 評価の方法	定期考査 提出物 授業態度						
教師からの メッセージ	先人の生き方を学び、自分の将来像を考えていこう。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程	
科目名	数学 I							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学 I・数学A (数研出版) REPEAT数学 I +A (数研出版)					履修形態	必修	
						授業形態	習熟度授業	
科目の目標 ※目標資格等	高校1・2年生で学習する内容を先取り学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る (数学A終了後、数学IIの教科書へ移行予定)							
学習計画	前期	数学 I 第3章 2次関数 第4章 図形と計量 第5章 データの分析						
	後期	数学Aの内容を実施する。						
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、月例テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点  以上の2点を総合的に判断して評価する							
教師からの メッセージ	受け身になることなく、自ら学ぶ姿勢を忘れずに学習に取り組んでください そのための授業・サポートを全力で行います							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程	
科目名	数学 A							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学 II・数学B (数研出版) REPEAT数学 I +A (数研出版)					履修形態	必修	
						授業形態	習熟度授業	
科目の目標 ※目標資格等	高校2年生で学習する内容を先取り学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る (数学II終了後、数学Bの教科書へ移行予定)							
学習計画	前期	数学 I の内容を実施する。						
	後期	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動						
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、月例テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点  以上の2点を総合的に判断して評価する							
教師からの メッセージ	受け身になることなく、自ら学ぶ姿勢を忘れずに学習に取り組んでください そのための授業・サポートを全力で行います							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション探究コース	
科目名	数学 I							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学 I・数学A (数研出版) 例題から学ぶ数学 I +A (実教出版)					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							
学習計画	前期	第1章 数と式 第2章 命題と集合 第3章 2次関数 第4章 図形と計量 第5章 データの分析						
	後期	数学Aの内容を実施する。						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション探究コース	
科目名	数学 A							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学 I・数学A (数研出版) 例題から学ぶ数学 I +A (実教出版)					履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							
学習計画	前期	数学 I の内容を実施する。						
	後期	第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動 数学A終了後、数学IIの内容に移行する。						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。							
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	数学 I						
教科書及び 使用教材等	新編数学 I (数研出版)					履修形態	必修
	基本と演習テーマ 数学 I +A (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Iの基礎から応用まで幅広い知識や基礎力を身に付け、一般受験に対応できる生徒を育てることを目標とする。						
学習計画	前期	第1章 数と式      第2章 集合と命題      第3章 2次関数					
	後期	第4章 図形と計量      第5章 データの分析					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に、豆テスト、宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う						
教師からの メッセージ	予習・授業・復習のサイクルをきちんと行ってください。特に、毎日の予習・復習をしっかりとやるのが大切です。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリッド文理コース
科目名	数学 A						
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編数学 A (数研出版)					履修形態	必修
	基本と演習テーマ 数学 I +A (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Aの基礎から応用まで幅広い知識や基礎力を身に付け、一般受験に対応できる生徒を育てることを目標とする。						
学習計画	前期	第1章 場合の数と確率					
	後期	第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に、豆テスト、宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う						
教師からの メッセージ	学校で言われたことをきちんと行ってください。特に、毎日の宿題の提出と毎時間の豆テストをしっかりとやるのが大切です。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース
科目名	数学 I						
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学 I (数研出版)					履修形態	必修
	3 ROUND I +A (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高校の数学の基礎的な内容の理解を目標とします。						
学習計画	前期	第1章 数と式      第2章 集合と命題 (中学校の学びなおしを行いながら)					
	後期	第3章 2次関数      第4章 図形と計量 (中学校の学びなおしを行いながら)					
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、普通の授業、提出物その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	予習をし、1時間1時間の授業を大切に、授業後は復習を行ってください。この3つのサイクルを確立してしっかりと知識を習得し、学力の向上を目指しましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	数学 II						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学 II 数学 B [数研出版]					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学 I ~Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学 II 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法					
	後期	数学Bの内容を実施する。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。						

47:K53E152C47:C	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学B						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ 数学B [数研出版]					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ～Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習 計画	前期	数学Ⅱの内容を実施する。					
	後期	数学B 第1章 数列 第2章 統計的な推測 第3章 数学と社会生活					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。						

	教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション探究コース
	科目名	数学Ⅱ						
	教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学Ⅱ [数研出版] 改訂版 高等学校 数学B [数研出版] チャート数学Ⅱ+B [数研出版]					履修形態	必修
							授業形態	一斉授業
	科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習 計画	前期	第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数						
	後期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法 数学Ⅱ終了後、数学Bに移行します。						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。							

	教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション探究コース
	科目名	数学B						
	教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学Ⅱ [数研出版] 改訂版 高等学校 数学B [数研出版] チャート数学Ⅱ+B [数研出版]					履修形態	必修
							授業形態	一斉授業
	科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習 計画	前期	数学Ⅱの内容を実施する						
	後期	数学Ⅱ終了後、数学Bに移行します。 第1章 数列 第2章 統計的な推測						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。							

	教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリッド文理コース
	科目名	数学Ⅱ						
	教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版) 基本と演習テーマ数学Ⅱ+B (数研出版)					履修形態	必修
							授業形態	一斉授業
	科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習 計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式						
	後期	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法						
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、豆テスト、予習・復習、宿題、提出物、授業態度などその他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	予習・復習をし、1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。さらに問題集などで力をつけましょう。							

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	数学B					ハイブリッド文理コース	
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 数学B (数研出版) 基本と演習テーマ数学Ⅱ+B (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学B 第1章 数列 第2章 統計的な推測					
	後期	数学B 第3章 数学と人間生活					
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、豆テスト、予習・復習、宿題、提出物、授業態度などその他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	予習・復習をし、1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。さらに問題集などで力をつけましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	数学Ⅱ					アドバンス文系コース	
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学Ⅰ [数研出版] 改訂版 最新 数学A [数研出版] 3ROUND 数学Ⅰ+A (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高校の数学の初歩的な内容の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学Ⅰ 第4章 図形と計量 第5章 データの分析					
	後期	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	予習・復習を行い、1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程
科目名	数学A					スタンダードコース	
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学Ⅰ [数研出版] 改訂版 最新 数学A [数研出版] 3ROUND 数学Ⅰ+A (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						
学習計画	前期	数学Ⅰ 第4章 図形と計量 第5章 データの分析					
	後期	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	数学Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	クリアー数学演習ⅠAⅡB [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	クリアー数学ⅠAⅡBⅢの演習を進めます。					
	後期	クリアー数学ⅠAⅡBⅢの演習を進めます。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	文系数学演習						
教科書及び 使用教材等	標準演習プラン I A II B [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	難関大学志望者に対する文系数学の重要性を踏まえ、共通テスト対策だけに留まらず、数学の本質を考えさせながら国公立2次・私大記述対策を見据えた演習を実施する						
学習計画	前期	標準演習プランを使用し、数学 I A・II Bの弱点強化及び復習を行います。					
	後期	共通テスト対策・基礎問題演習 共通テスト対策・実践問題演習 適宜、模擬試験の復習なども実施予定					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、確認テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点  以上の2点を総合的に判断して評価する						
教師からの メッセージ	志望校の目標得点率を目指し、基礎的な力をしっかりと身につけ、初めて見る問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身につけていきましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	理系数学演習						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学III (数研出版) 例題から学ぶ数学III 演習編 (実教出版)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学 I・A・II・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学III 第7章 積分法とその応用					
	後期	基礎問題演習・実践問題演習、適宜、模擬試験の復習なども実施予定					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、課題の実施状況、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	志望校の目標得点率を目指し、発展的な力をしっかりと身につけ、初めて見る問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身につけていきましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	数学III						
教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学III [数研出版] リポート数学III [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学 I・A・II・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学III 第2章 式と曲線		第3章 関数			
	後期	第4章 極限		第5章 微分法			
評価の観点 評価の方法	前期	第6章 微分法の応用					
	後期	第7章 積分法とその応用 理系数学演習に移行します。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普通の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりと知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	文系数学演習						
教科書及び 使用教材等	アーチ数学 I A II B (数研出版) シニア数学演習 I A II B (数研出版)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	難関大学志望者に対する文系数学の重要性を踏まえ、共通テスト対策だけに留まらず数学の本質を考えさせながら、国公立2次・私大記述対策を見据えた演習を実施する。						
学習計画	前期	アーチ数学演習 I A + II B (数研出版)を実施予定					
	後期	共通テスト対策基礎・実践問題演習 適宜、模擬試験の復習なども実施予定					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テストなどのテスト点 授業ノート、小テスト、宿題状況、授業態度のどの平常点 以上2点を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	志望校の目標得点率を目指し、所見の問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身に付けていきましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	理系数学演習						
教科書及び 使用教材等	クリアー数学演習ⅠAⅡB (数研出版)					履修形態	選択
	クリアー数学演習Ⅲ (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	共通テスト試験、2次試験に向け、効果的に演習をする。						
学習計画	前期	上記 問題集を使用し、共通テストに向け、効果的に演習を行います。					
	後期	上記 問題集を使用し、共通テストに向け、効果的に演習を行います。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	普通 課程 I 課程
科目名	数学Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅲ [数研出版]					履修形態	選択
	Study-Upノート 数学Ⅲ [数研出版]					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第3章 関数 第4章 極限					
	後期	第5章 微分法 第6章 微分法の実用 第7章 積分法とその応用					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 I 課程
科目名	数学Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 数学ⅡB [数研出版]					履修形態	必修
	基本と演習テーマ数学Ⅱ+B (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	指数対数と対数関数、微分積分について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
学習計画	前期	数学B 第3章 数列 数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法					
	後期	第6章 微分法と積分法					
評価の観点 評価の方法	定期考査、校内選考テスト、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	指数・対数関数では、様々な定理から答えを導き出したり、微分積分では、今までにはできなかった図形の面積を求められるおもしろさを追求していきます。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程 II 課程
科目名	数学Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学Ⅱ (数研出版)					履修形態	必修
	3ROUND 数学ⅡB (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅱについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式					
	後期	第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						



教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅲコース
科目名	数学Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	最新数学Ⅱ [数研出版] 高校生的一般常識+S P I 問題集[実教出版]					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅱにおける基本的な内容の理解及び就職試験における知識の定着、更に数学と人間とのかわりや数学の有用性についての認識を深めることを目標とします。						
学習計画	前期	一般常識及びS P I の問題 (就職試験の対策を含む)					
	後期	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法					
評価の観点 評価の方法	定期考査、校内選考テスト、普段の授業態度、提出物などを踏まえ総合的に判断し評価します。						
教師からの メッセージ	毎回の授業を大切にし確実に知識を定着するようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	コミュニケーション英語 I						
教科書及び 使用教材等	Heartening English Communication I					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけることができる。						
学習計画	前期	I Lesson 1～Lesson 5					
	後期	I Lesson 6～Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎日の豆テストの他に、次の提出物を組み合わせて、総合的に評価する。(毎日の家庭学習ノート、毎日の英語長文プリント、教科書の訳文など)						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	論理表現 I						
教科書及び 使用教材等	FACT BOOK English Logic & Expression I					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。						
学習計画	前期	Unit 1～Unit 5					
	後期	Unit 6～Unit 10					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語会話						
教科書及び 使用教材等	学研オンライン英会話					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will have conversations in English over the Online Speaking program.						
学習計画	前期	Online Speaking Unit 1 - 10					
	後期	Online Speaking Unit 1 - 10					
評価の観点 評価の方法	Students will be assessed weekly on their conversations. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also check for their progress.						
教師からの メッセージ	Students must use English to respond to questions and they must also be able to comprehend conversations.						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション探求コース
科目名	コミュニケーション英語 I						
教科書及び 使用教材等	Heartening English Communication I					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけることができる。						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 5					
	後期	Lesson 6～Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期テスト、英文暗記テスト、提出物を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	英語は「反復」が命です。英単語、英文法、読解全てにおいてそれはあてはまります。最初はつらいと感じるかもしれませんが、その努力の先に待っている世界を信じて頑張り抜きましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	コミュニケーション英語 I						
教科書及び 使用教材等	All Aboard English Communication I					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語学習を通して積極的にコミにケーションを高めるための基礎学習を4領域を通じて学ぶ。						
学習計画	前期	異文化理解を深め、広い視野をもった人間育成を目標とする。まずは基礎の復習。					
	後期	自ら発信できる英語学習を目指す。					
評価の観点 評価の方法	校内テスト・外部テストに家庭学習と拾牛態度を加味する。						
教師からの メッセージ	英語は積み重ね学習です。自主学习ノートを毎日提出するのに慣れたら英語がもっと楽しい教科になりますよ。練習しましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	コミュニケーション英語 I						
教科書及び 使用教材等	All Aboard English Communication I					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語学習を通して積極的にコミにケーションを高めるための基礎学習を4領域を通じて学ぶ。						
学習計画	前期	異文化理解を深め、広い視野をもった人間育成を目標とする。まずは基礎の復習。					
	後期	自ら発信できる英語学習を目指す。					
評価の観点 評価の方法	校内テスト・外部テストに家庭学習と拾牛態度を加味する。						
教師からの メッセージ	英語は積み重ね学習です。自主学习ノートを毎日提出するに慣れたら英語がもっと楽しい教科になりますよ。練習しましょう。						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	英語会話						
教科書及び 使用教材等	Hello There					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will be asked to use thier reading, writing, speaking and listening skills in						
学習計画	前期	Hello There Unit 1-8					
	後期	Hello There Unit 9-15					
評価の観点 評価の方法	Students will have weekly work to monitor progress. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also be used to assess learning.						
教師からの メッセージ	Students should be working at a level higher than students in 1-4~1-8. Students should gain more confidence to communicate in English.						

教科名	英語	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース	
科目名	コミュニケーション英語 I							
教科書及び 使用教材等	Amity English Communication I						履修形態	必修
							授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	積極的に情報伝達を図る態度を養う。							
学習計画	前期	4領域の基礎学習の定着と昨秋の習慣指導を通し積極的な情報伝達を目指す。						
	後期	教科書後半からは眺めの文解釈に慣れ4領域の活用に慣れる。						
評価の観点 評価の方法	授業後とのプリントやノートやワークの提出、定期試験結果、授業態度を評価の対象とする。							
教師からの メッセージ	板書、音読、ノートづくり、ワーク等授業中にできるものは完了し、克つ高見を望なら英検にチャレンジしよう。							

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース	
科目名	英語会話							
教科書及び 使用教材等	Hello There						履修形態	必修
							授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will be asked to use thier reading, writing, speaking and listening skills in							
学習計画	前期	Hello There Unit 1-8						
	後期	Hello There Unit 9-15						
評価の観点 評価の方法	Students will have weekly work to monitor progress. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also be used to assess learning.							
教師からの メッセージ	Students should gain more confidence to communicate in English.							

教科名	英語	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫課程	
科目名	英語演習							
教科書及び 使用教材等	リスニングプリント教材						履修形態	選択
							授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英検2級、共通テストリスニングレベルのリスニング力を養成する							
学習計画	前期	/						
	後期	英検準2級レベル、共通テスト入門レベルのリスニング						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。							
教師からの メッセージ	リスニング力を向上させるには、ただ問題を解くだけでは不十分です。ディクテーションを通じて、細部まで聞き取る訓練を積むことが大切です。また聞こえてきた通りに意味を解釈していく直聴直解を訓練することで、読解力の向上にもつながります。							

教科名	英語	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫課程	
科目名	コミュニケーション英語 II							
教科書及び 使用教材等	Herteing English Communication II						履修形態	必修
							授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。							
学習計画	前期	L4 ~ L8						
	後期	コミュニケーション英語IIIの教科書に入ります						
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎日の豆テストの他に、次の提出物を組み合わせて、総合的に評価する。(毎日の家庭学習ノート、毎日の英語長文プリント、教科書の予習など)							
教師からの メッセージ	英語は、毎日の学習の積み重ねで実力をつけていく教科です。毎日の課題をしっかりとやれば、必ず成績は上がりますので頑張りましょう。							

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	論理表現Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	FACT BOOK English logic and ExpressionⅡ					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2. 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。						
学習 計画	前 期	L21 Save the earth L22 Work-Life Balance L23 Tokyo Skytree L24 New Zealand L25 Food self-Sufficiency Expression Workshop 5 英語表現ⅡからL1 School Uniform L2 Online Addiction L3 Comparison Animals L4 Why Homework? Expression Workshop 1					
	後 期	L5 My future career L6 Volunteer work L7 Barrier-free society L8 Japanese longevity Expression workshop 3 L9 Universal Signs L10 Color and food L11 Digital vs. analog L12 Living Language Expression workshop 3 L13 visiting Australia L14 My hero L15 Are you ambitious? L16 Denis the menace					
評価の観点 評価の方法	定期テストや毎回の豆テストを総合的に評価する。						
教師からの メッセージ	英文法がわかるようになると、自由に英語で表現できるようになります。まずは英文法の基礎を 固め、様々な場面で英語を使えるようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語会話						
教科書及び 使用教材等	学研オンライン英会話					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will have conversations in English over the Online Speaking program.						
学習 計画	前 期	Online Speaking Unit 1 - 10					
	後 期	Online Speaking Unit 1 - 10, New Favorite					
評価の観点 評価の方法	Students will be assessed weekly on their conversations. Mid-Term, Final and Evaluation examinations will also check for their progress.						
教師からの メッセージ	Students must use English to respond to questions and they must also be able to comprehend conversations.						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語演習						
教科書及び 使用教材等	長文読解と構文					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英文を解釈し、理解する上で特に重要な100の構文をとりあげます。これに習熟することで、 文法や語彙に対する理解を高め、読解力や表現力を向上させることが出来ます。						
学習 計画	前 期	仮定法を含む構文、接続詞を含む構文、比較構文、譲歩構文、無生物主語を含む構文、間接疑問・ 同格、強調・倒置・省略、名詞構文					
	後 期	英文法のテキストを行う予定です。					
評価の観点 評価の方法	定期考査の成績と、毎回行う暗唱例文の豆テストの成績で総合的に成績を出します。						
教師からの メッセージ	予習、復習をしっかり行い、楽しんで英語を学ぶことができると良いと思います。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	イノベーション探求コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	Hearting English CommucationⅡ					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。 2. 英語を通じて、情報や考え方を的確に理解したり伝えたりする能力を身に付け、それを伸ばすことが できる。						
学習 計画	前 期	Lesson1～Lesson4					
	後 期	Lesson5～Lesson8					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	英語は「反復」が命です。英単語、英文法、読解全てにおいてそれはあてはまります。最初はつ らいと感じるかもしれませんが、その努力の先に待っている世界を信じて頑張り抜きましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	イノベーション探求コース
科目名	英語表現Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	FACT BOOK English CommunicationⅡ					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2. 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。						
学習計画	前期	Lesson1～Lesson16 時制、助動詞、受け身、準動詞、比較、関係詞、仮定法、品詞、パラグラフの構成、主題文と指示文、事実と意見の区別					
	後期	Lesson17～Lesson32 例示、比較と対照、意見と理由、原因と結果、アウトライン、序論と結論、本論、スピーチの種類、プレゼンテーション					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	英語で「話す」「書く」のに必要な文法は「中学校で習ったもの+α」で十分です。基本的な文法を何度も「反復」して使えるようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	論理表現Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	New Favorite English Logic ExpressionⅠ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語表現は4領域読む・書く・話す・聞くをカバーしつつも、書く・話すという発信面に主眼を置き自らの意見を表現できる能力を養う。						
学習計画	前期	簡単な英語で自らの考えを発信できる和文英訳から英作文へと英語独特の言い回しに慣れる。					
	後期	課題英作文への助走として自分の考えを文章にできるまでの練習に取り組む。					
評価の観点 評価の方法	英作文としての理論展開が明瞭か発表で機能が要所に使いこなしているか？。						
教師からの メッセージ	英語総合では広すぎる部分も表現では集中して実践でき楽しめます。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	ハイブリッド文理コース
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	All Aboard English CommunicationⅡ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。 2. 情報や考え方を適切に理解し伝えることができる 3. 外国の文化などを理解することができる。						
学習計画	前期	Lesson1～Lesson5 食器の歴史、包装について、自然と歴史、民俗音楽、農業の在り方					
	後期	Lesson6～Lesson10 色の効果、温暖化、生態系、シェアリング、行動力					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	毎日1つずつ、新しいことを学びましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	アドバンスドコース
科目名	論理表現Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	Big Dipper English Logic ExpressionⅠ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な英文法をマスターし、会話、作文など発信できる能力を養う						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 10					
	後期	Lesson 11～Lesson 21					
評価の観点 評価の方法	定期考査、確認テスト、授業態度、ノートやワーク等の提出物などを総合して評価します。						
教師からの メッセージ	英語で「話す」「書く」のに必要な文法は「中学校で習ったもの+α」で十分です。基本的な文法						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	アドバンスドコース
科目名	論理表現 I						
教科書及び 使用教材等	Big Dipper English Logic Expression I					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	基本的な英文法をマスターし、会話、作文など発信できる能力を養う						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 10					
	後期	Lesson 11～Lesson 21					
評価の観点 評価の方法	定期考査、確認テスト、授業態度、ノートやワーク等の提出物などを総合して評価します。						
教師からの メッセージ	英語で「話す」「書く」に必要な文法は「中学校で習ったもの+α」で十分です。基本的な文法を何度も「反復」して使えるようにしましょう。						

教科名	英語	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	アドバンスド・スタンダード コース
科目名	コミュニケーション英語 II						
教科書及び 使用教材等	Amity English Communication II					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることが出来る。</li> <li>情報や考えなどを理解したり、伝えたりすることができる。</li> <li>言語についての知識を身につけたり、背景にある文化を理解したりすることができる。</li> </ul>						
学習計画	前期	Lesson 1～Lesson 4					
	後期	Lesson 5～Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期考査、確認テスト、授業態度、ノートやワーク等の提出物などを総合して評価します。						
教師からの メッセージ	英語は「反復」が命です。英単語、英文法、読解全てにおいてそれはあてはまります。最初はつらいと感じるかもしれませんが、その努力の先に待っている世界を信じて頑張り抜きましょう。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	コミュニケーション英語 III						
教科書及び 使用教材等	共通テストの対策問題					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	共通テストはもちろん英検やGTECなどの検定試験でも高得点を取ることを目標とします。						
学習計画	前期	共通テストの対策問題集を進めていきます。					
	後期	共通テストの対策問題集を進めていきます。					
評価の観点 評価の方法	定期考査の成績だけでなく、毎日の家庭学習ノートや英語長文プリントの提出を加味して、成績を出します。						
教師からの メッセージ	共通テストの問題を数多く解くことによって、得点率はどんどん上がっていきますので、みなさん頑張ってください。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語表現 II						
教科書及び 使用教材等	共通試験英語リスニング問題演習&自由英作文					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	共通試験のリスニングで高得点を取るだけでなく、英検やGTECなどのリスニング問題でも高得点を取ることを目標とします。また大学入試の2次試験に出題される自由英作文にも対応できる力を養成します。						
学習計画	前期	共通テストのリスニング問題演習を進めていきます。また大学入試の英作文の過去問を解いて行きます。					
	後期	共通テストのリスニング問題演習を進めていきます。また大学入試の英作文の過去問を解いて行きます。					
評価の観点 評価の方法	定期考査の成績だけでなく、毎日の家庭学習ノートや英語長文プリントの提出を加味して、成績を出します。						
教師からの メッセージ	共通テストのリスニング問題を数多く解くことによって、得点率はどんどん上がっていきます。またエッセイを多く書いていくとライティングの力もついていきますので、頑張りましょう。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	英語演習					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	共通試験対策問題集					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	共通試験の出題形式や内容に慣れ、英語が楽しく教科となるよう地道に力を付ける。						
学習計画	前期	文法や後文など基礎から応用の復習として実践問題周から始め読解力を高める。					
	後期	2冊目の問題集は共通テスト対策と英作文の発展をし入試対策とする。					
評価の観点 評価の方法	授業での積極性、定期試験で評価する。						
教師からの メッセージ	センター対策の一環として語彙、文法などの実践をしながら過去問に如くにステップアップしますので、予習はする。復習は定期テスト時でよいのでまずは自分でチャレンジしよう。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	Priminence English Course Ⅲ					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	その文章が何が言いたいのか(主張)をつかむことが最終目標。そのために語いや構文など細部の理解、読解上のスキルを身につけていくことを目標とする。						
学習計画	前期	Lesson 1 ~ Lesson 15					
	後期	主に大学入試問題を使った演習					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度、ノート検査等						
教師からの メッセージ	何となく答えを選ぶのではなく、明確な根拠を持って答えるようにしましょう。そして、一度やった(読んだ)問題(文章)は解答へのプロセス、意味の取り方など頭に染み込むまで何度も繰り返す努力が必要です。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	英語表現Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	テーマについて自分の考えを書く・述べる					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	SpeakingやWritingでよく使う表現をマスターし、英語表現力を向上させる						
学習計画	前期	主に短文レベルの和文英訳で、文法や表現を学ぶ					
	後期	大学入試英作文問題で実践力を養う					
評価の観点 評価の方法	評価テスト、定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合して評価する。						
教師からの メッセージ	重箱の隅をつつくような文法ではなく、日常的によく使う表現をマスターすること。最小限の知識で、英語で発信できる力を養いましょう。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	英語演習					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	共通テスト対策講座					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	Students will be translating full sentences from Japanese to English. Writing essays in English.						
学習計画	前期	Passport To English Unit 1-20, Writing Master 1-10					
	後期	Passport to English 21-30, Writing Master 11-20.					
評価の観点 評価の方法	Daily lessons will be used to monitor progress. Mid-Terms, Final and Evaluation examination						
教師からの メッセージ	Students will be asked to form and write opinions in English. Spelling and grammar must be of high standard						



教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程 Iコース
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	Power On Ⅲ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	4領域の発展の時期、できるだけたくさん情報を英文から学び積極的に他者に伝達できるよう要						
学習計画	前期	文構成など文法の応用から多読精読もどき授業展開に慣れる。					
	後期	進研模試、英検等で結果を出せるようにする。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、授業態度の積極性、業者テスト、提出物から判定する。						
教師からの メッセージ	ほとんどの生徒が英検準2級取得者または同等の実力がついているので 大学入試を目指し更なる高見をめざせ！						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Iコース
科目名	英語表現 I						
教科書及び 使用教材等	BIG DIPPER					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語で表現するための本能的なルールを楽手する						
学習計画	前期	Part 1 Lesson 20, 21 Part 2 Lesson 1~8					
	後期	Part 2 Lesson 9~15					
評価の観点 評価の方法	定期試験の得点と課題の提出の得点によって。試験のポイントは文の構造を正しく理解しているかどうか、学習した単語・語句をどれくらい覚えているかどうか。						
教師からの メッセージ	英文を正しく、速く読むことができる能力は他の聞く、話す、書く能力を高める土台になります。時間をかけることによって慣れてきますから根気よく努力してください。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	4	履修課程 (コース)	普通課程 IIコース
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	All Aboard English Communication Ⅲ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	英語の文章を正確に、速く読んで内容を理解することができる能力を養う						
学習計画	前期	Lesson1~Lesson 5					
	後期	Lesson 6~Lesson 10					
評価の観点 評価の方法	定期試験の得点と課題の提出の得点によって。試験のポイントは文の構造を正しく理解しているかどうか、学習した単語・語句をどれくらい覚えているかどうか。						
教師からの メッセージ	英文を正しく、速く読むことができる能力は他の聞く、話す、書く能力を高める土台になります。時間をかけることによって慣れてきますから根気よく努力してください。						

教科名	英語	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 IIIコース
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	All Aboard English Communication Ⅱ					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	就職試験の英語の問題に対応できる英語力を養う。将来社会人として働くのに必要な基本的な英語						
学習計画	前期	Lesson 5~Lesson 8					
	後期	Lesson 9~Lesson 12					
評価の観点 評価の方法	定期試験の得点と課題の提出の得点によって。試験のポイントは練習問題を正しく理解しているかどうか、学習した単語・語句をどれくらい覚えているかどうか。						
教師からの メッセージ	教科書の英文のポイントを理解し、ワークブックの問題を自分の力で解答できるようになれば定期試験の得点も伸びます。一時間一時間を大切に授業を受けてください。						